

## 第12章 結 論

### § 175 理想的大都市と我國に於ける地方計畫實行方法

理想的都市は保健衛生上、保安上、都市活動産業能率上、社會文化施設上好適のものであらねばならぬ。公共の安寧を維持し福祉を増進することは、龍大都市、超大都市にありては多大の困難を伴ひ、莫大な改善費、建設費を必要として實現が殆ど不可能となる。理想都市は其の大きさに一定の限度があり、各般の施設配置に就ては豫め計畫され、建設された田園都市的發展をしたものとなる。

然るに現在の社會、經濟組織に於て都市活動、産業能率を増進させるには相當の人口、資本の集中を必要とし自然に大都市成立の重要原因となつてゐる。斯る現象は世界各國共通で、經濟的、社會的原因を一時に變更することは不可能である。従つて大都市の出現、發達を否認し、阻止することは不都合且不可能なことである。要は大都市の發展に於て大都市通有の弊害に陥ること無きを期し、無統制な龍大な都市とならぬ様に努め、大都市の周圍に衛星的小都市を配置して日常生活にはこれ等小都市にありて最も健康的且有利に行ふことが出來、大都市に非ざれば享有出來ない、教育・娛樂・社交・文化的施設の便益を中心大都市にて容易に享受し得られるが如き發展を圖るにある。

これが爲めには地方計畫により都市並に其の附近地一帯を含む廣大な面積に互り都市と農村との均衡のとれた發達、土地利用の合理化を圖らねばならぬこととなる。

我國各都市に行はれてゐる都市計畫は多くは一大都市の發展を目的とするものにして不可である。龍大な都市を建設するのが目的であつてはならぬ。衛生的な、能率のよい、住心地よい美しい都市を建設することを目的とせねばならぬ。これには先づ地方計畫を樹て、これに適應した都市計畫、農村計畫が進められることを要する。これ等地

方計畫の最も緊急實施を要する地方は人口並に産業の集積してゐる

- (1) 東京、横濱を中心とする關東地方
- (2) 大阪、神戸、京都を中心とする近畿地方
- (3) 名古屋地方
- (4) 北九州地方

等大都市並に其の附近地で、都市化の極めて著しい地方に於てゐる。

これ等各地方にては都市計畫區域が連続して自ら一大都市計畫區域を形作つてゐるものがある。或は綠地計畫區域等を設けて計畫中のものもあるけれども、單に連続してゐる都市計畫區域間に連絡をとるのみでは不充分である。先づ地方計畫を樹て、それより都市計畫へと進まねばならぬ。又綠地計畫のみでも不充分である。地方計畫は綜合的計畫であることが肝要である。地域制・交通施設・綠地・公共的施設等各般の計畫を綜合したものであることを要する。斯く各般の施設に關し、且廣大な地域に互るから地方計畫の確立には關係行政廳が協力して聯合委員會を設立し、調査・研究には獨立の機關を設け、専門家を聘してその衝に當らしめ、慎重に攻究の上立案することが肝要である。現在の行政區劃に囚はれることなく、地方計畫の意義に立脚した範圍をとり、各關係方面の協力を得、又これが實行に對する法制上並に財政上の便宜を與へられることを併せ必要とする。